

小学校

「総合的な学習の時間」全体計画

【総合的な学習の時間の目標】

身近な自然とそこに生きる人々とのかかわりについての探究的な学習を通して、学び方やものの見方を身に付け、仲間と協力して問題の解決に取り組むとともに、よりよい生活をつくらうとする。

【育てようとする資質や能力及び態度】

①学習方法に関すること

3・4年	・必要な情報を収集し、分析する
5・6年	・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する

②自分自身に関すること

3・4年	・自らの行為について意思決定する
5・6年	・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する

③他者や社会とのかかわりに関すること

3・4年	・他者と協同して課題を解決する
5・6年	・異なる意見や他者の考えを受け入れ、認め合う

【学習内容】

学習対象・学習事項	
3・4年	北方領土の自然や人々の暮らしを対象に、北方領土の特色や自分たちの生活とのかかわりについて学ぶ
5・6年	北方領土に関する歴史を対象に、北方領土問題と自分たちの生活とのかかわりについて学ぶ。

【学習活動】

3年	・主たるテーマ「郷土」学習の中に、地域を発展的に捉え、道民として国際理解を図る糸口としての北方領土学習の位置付け
4年	
5年	
6年	

【指導方法】

3年	・教科との関連的な指導の工夫 ・諸資料の有効的な活用の工夫 ・言語活動を重視した調べ学習の工夫
4年	
5年	
6年	

【学習の評価】

3年	・個人内評価の重視 ・ポートフォリオや発表物、発表方法等を生かした評価の充実
4年	
5年	
6年	

【指導体制】

3年	・運営委員会（学級担任教諭・研究部・教頭）による校内の連絡調整と支援体制の確立 ・学級担任教諭以外の教職員
4年	
5年	
6年	

【地域との連携】

・広い視野から北方領土に対する理解を深めるため、地域の地形や産業の特色を捉える。

【小・中の連携】

・管理職・教務部を中心とした計画委員会を設立する。
・各学級担任による計画及びその実践を理解する。

【各教科等との関連】

・国語科で学習したことを生かし、発表原稿や記事を文章にまとめる。
・社会科で学習した北海道の地形や歴史を参考にする。

中学校

「総合的な学習の時間」全体計画

【総合的な学習の時間の目標】

社会科の学習と関連させ、探究的な活動を通して、学び方やものの考え方を身に付け、主体的に課題解決に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

【育てようとする資質や能力及び態度】

①学習方法に関すること

2年 ・対象と積極的にかかわり課題を設定し、他者と協同して課題を解決しようとする

②自分自身に関すること

2年 ・自らの生活を見直し、よりよい在り方を考え、課題解決や探究活動に主体的に取り組む

③他者や社会とのかかわりに関すること

2年 ・自分と地位とのかかわりを考えながら社会に参画し貢献しようとする

【学習内容】

学習対象・学習事項

2年 北方領土問題の解決に取り組む人々を対象に、北方領土問題の歴史と領土問題の解決に向けた取組の在り方について学ぶ。

【学習活動】

2年 ・戦後日本の国際社会への復帰の経緯の中で、残された問題としての北方領土問題への認識を深め、北方領土問題の解決について追究する課題を設定し、主張をまとめる。

【指導方法】

2年 ・社会科と関連した指導方法の工夫
・視聴覚教材の有効活用
・自分の考えをまとめ、発表し、広く情報を発信する指導方法の工夫

【学習の評価】

2年 ・自己評価および相互評価の重視
・発表方法を加味した評価の充実

【指導体制】

2年 ・校内研修と関連付けた授業公開体制の確立
・該当学年の総合的な学習の時間と社会科との関連を図った指導体制

【地域との連携】

・広い視野から北方領土に対する理解を深めるため、様々な人々の意見を聞いたり、資料等を活用したりする。

【小・中の連携】

・管理職・教務部を中心とした計画委員会を設立する。
・小学校での北方領土に関する授業を参観する。

【各教科等との関連】

・日本とロシアの領土の歴史的な経緯（社会科歴史的分野）を理解する。

小学校

第3・4学年 「総合的な学習の時間」 単元指導計画

単元名	北方領土 再発見	時数	5 時間
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土の自然や生活等について、自分たちが住んでいる地域と比較しながら、自ら考え、調べたことをまとめることができる。 ・調べた内容や考えたことを分かりやすく表現したり、北方領土や自分たちが住んでいる地域について考えたりすることができる。 		
地域、児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心をもって、進んで調べることに意欲的である。 ・北方領土に関する既存の知識をもっていない状況である。 		
育てようとする資質や能力及び態度	1 学習方法に関すること	2 自分自身に関すること	3 他者や社会とのかかわりに関すること
	<ul style="list-style-type: none"> ①必要な情報を収集する（第3学年） ②収集した情報を分析する（第4学年） ③解決への見通しをもって、情報を比較したり、関係付けたりする（共通） ④調べたことを自分なりに分かりやすく表す（共通） 	<ul style="list-style-type: none"> ①自らの行為について意思決定する（共通） ②学んだことを学校生活や家庭生活で生かそうとする（共通） 	<ul style="list-style-type: none"> ①他者と協同して課題を解決する（共通）
前学年との関連について	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年においては、生活科等における学習経験で、共同して学習してきた。 ・第4学年においては、全学年の社会科及び総合的な学習の時間と関連させた。 		
教材について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・地図帳 ・デジタル紙芝居（独立行政法人 北方領土問題対策協会ホームページ） ・「北方領土ってどんなところ？」（社団法人 北方領土復帰期成同盟） ・ビデオ教材『四島（しま）くん領子（りょうこ）ちゃんものしり博士の北方領土とは』（内閣府北方対策本部作成） 		
地域の人材について	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土の語り部（公益社団法人 千島齒舞諸島居住者連盟） 		
地域の施設について	※ 適当な施設なし		
時間	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 学習過程 ● 主な学習内容 </div>		<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
1	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center; border-radius: 10px;"> 課題の設定 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 北方領土はどこにある？ <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を活用して、自分なりの日本地図を描く。 ・北海道付近には、北方領土があることを理解する。 		<input type="checkbox"/> 北方領土の地理的な位置を進んで調べようとしている。（2-①） <input type="checkbox"/> 地図帳

時 間	<div style="text-align: center;"> 学習過程 ● 主な学習内容 </div>	<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 北海道本島の北東の海上につらなっている歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島のことだよ。 など </div> <p>● 学習課題を考えよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 北方領土の自然や生活について調べ、自分たちが住んでいる地域の様子と比較しよう </div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 10px; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> 情 報 の 収 集 </div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 整 理 ・ 分 析 </div>	<input checked="" type="checkbox"/> 資料を比較して課題を設定する。
2	<p>● 「北方領土の語り部」から当時の島での暮らしの様子を学ぶ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土にはたくさんの港があるね。 ・ 昔の人々は大変な苦勞をしたんだね。 ・ 昔は魚介類がたくさんとれたんだ。 など </div>	<input type="checkbox"/> 北方領土の語り部 <input type="checkbox"/> (第3学年) 必要な情報を収集する。(1-①) (第4学年) 収集した情報を分析する。(1-②) <input type="checkbox"/> 解決への見通しをもって、情報を比較したり、関係付けたりしている。(1-③)
3	<p>● 北方領土はどんな島？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオやインターネット等の資料で北方領土の概要をつかむ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候は、海洋の影響を受けて、真夏の8月で平均気温が16度、冬でも根室とほぼ同じで、零下5度か6度くらいだ。 ・ 年間を通じて風の強い日が多く、特に冬の間は、雪まじりの北西の季節風が何日も続くんだった。 ・ 人口は、1945年の終戦に、北方領土の4つの島々には、1万7千人以上の人々が住んでいて、小学校も39校あったんだ。 など </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土について知りたいことを調べ、自分の住む町の様子と比較する。 <div style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> ま と め ・ 表 現 </div>	<input type="checkbox"/> ビデオ教材「四島くん領子ちゃんものしり博士の北方領土とは」 <input type="checkbox"/> 学習資料「北方領土ってどんなところ？」 <input type="checkbox"/> デジタル紙芝居 <input checked="" type="checkbox"/> 映像資料等から必要な情報を取り出したり、収集したりする。 <input checked="" type="checkbox"/> 情報を黒板に書き出し、整理・分析する。
4～5	<p>● 北方領土や自分の住む町を比べて、分かったことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集めた資料を分析し、わかったことを発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 島のほとんどが森林に覆われており、良質の木材を生産し林業が盛んだったんだ。 ・ 島の主な産業は、魚や貝などがたくさんとれるところで漁業が行われていたんだ。 ・ 自分たちが住む町と同じようにホタテ漁が行われていたんだ。 ・ 自分たちが住む町と同じように冬の間は、気温が低く、風の強い日が続くんだった。 など </div>	<input type="checkbox"/> 気付いたことを積極的に交流しようとする。(3-①) <input checked="" type="checkbox"/> 模造紙や新聞など、自分たちが考えた方法でまとめ、発表する。

北方領土に関する学習

時 間	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 学習過程 ● 主な学習内容 </div>	<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点						
道徳の時間 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに北方領土についてもっと知りたいこと等を書く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土の歴史について調べてみたい。 ・北方領土に住んでいる人々の暮らしをくわしく調べてみたい。 など </div> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに書いたことを発表し、第5、6学年で学習する「北方領土再発見Ⅱ」に向けて意欲を高める。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・わかったことを新聞を作って発表してみたい。 ・資料やコンピュータを使って詳しく調べたい。 ・作成したものを家族にも見てもらいたい。 </div>	<input type="checkbox"/> 次の課題追究について考えている。(2-①) <input type="checkbox"/> まとめ方、整理の仕方を考えようとしている。(1-④) <input type="checkbox"/> 学んだことを学校生活や家庭生活で生かそうとしている。(2-②) <input checked="" type="checkbox"/> 振り返りカードでまとめ、表現する。						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">主題名</td> <td style="padding: 5px;">ふるさとを愛する心 内容項目4-(5)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">資料名</td> <td style="padding: 5px;">①「わたしたちの道徳」4-(5)「きょう土を愛する心をもって」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">ねらい</td> <td style="padding: 5px;">郷土の生活や文化、伝統に親しみ、郷土を愛する心情を育てる。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">体験活動との関連</td> <td style="padding: 5px;">①導入で、北方領土について調べたことを想起させるとともに、自分たちが住んでいる「ふるさと」について感じていることを発表させる。 ②終末で、「わたしたちの道徳」4-(5)「ふるさとをよむ」に、「ふるさと」という言葉を使った短歌を作成する。</td> </tr> </table>	主題名	ふるさとを愛する心 内容項目4-(5)	資料名	①「わたしたちの道徳」4-(5)「きょう土を愛する心をもって」	ねらい	郷土の生活や文化、伝統に親しみ、郷土を愛する心情を育てる。	体験活動との関連
主題名	ふるさとを愛する心 内容項目4-(5)							
資料名	①「わたしたちの道徳」4-(5)「きょう土を愛する心をもって」							
ねらい	郷土の生活や文化、伝統に親しみ、郷土を愛する心情を育てる。							
体験活動との関連	①導入で、北方領土について調べたことを想起させるとともに、自分たちが住んでいる「ふるさと」について感じていることを発表させる。 ②終末で、「わたしたちの道徳」4-(5)「ふるさとをよむ」に、「ふるさと」という言葉を使った短歌を作成する。							

小学校

第5・6学年 「総合的な学習の時間」 単元指導計画

単元名	北方領土再発見Ⅱ		時数	5 時間
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土の自然・産業等について、社会科で学んだことや総合的な学習の時間で調べたことを踏まえて課題を見付けるとともに、調べたことをまとめ、発表することができる。 			
地域、児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたり、表現したりする活動に意欲的である。 ・北方領土に関する情報が少ないため、自ら課題を設定して、見通しをもって取り組むことが難しい。 			
育てようとする資質や能力及び態度	1 学習方法に関すること	2 自分自身に関すること	3 他者や社会とのかかわりに関すること	
	<ul style="list-style-type: none"> ①目的に応じて、分かりやすくまとめる（第5学年） ②相手に応じて分かりやすく発表する（第6学年） ③事象間の因果関係を分析したり、推論したりする（共通） 	<ul style="list-style-type: none"> ①目標を設定し、課題の解決に向けて行動する（共通） ②学んだことや考えたことを生かしたり、自分の生き方を考えたりしようとする（共通） 	<ul style="list-style-type: none"> ①異なる意見や他者の考えを受け入れる（共通） ②仲間と協力して、新たな取組など適切な方法を考えながら問題解決に取り組む（共通） 	
前学年との関連について	<ul style="list-style-type: none"> ・第4学年社会科及び前年度の総合的な学習の時間において、北海道の地域の様子を学習し、北方領土を含む地形や気候、産業について理解を深めた。 			
教材について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・地図帳 ・白地図 ・パソコン ・「北方領土ってどんなところ？」（社団法人 北方領土復帰期成同盟） ・キッズコーナー（独立行政法人 北方領土問題対策協会ホームページ） ・副読本「ほっぼうりょうど」（社団法人 北方領土復帰期成同盟） ・「はあと・ふる1」（北海道教育委員会） 			
地域の人材について	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土の語り部（公益社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟） 			
地域の施設について	※ 適当な施設なし			
時間	<p style="text-align: center;">学習過程 ● 主な学習内容</p>		<p>□ 評価 ○ 人材、施設、資料等の活用 ■ 指導上の留意点</p>	
1	<p style="text-align: center;">課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北方領土はどのような島なのだろうか。 ・「はあと・ふる1」（色丹島）のポスターを提示し、北方領土の地理的位置や自然等に気づき、概要を捉える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土と北海道の距離を測定してみよう。 ・北海道本島との距離はどのくらい。など </div>		<p>□ 北方領土の地理的な位置を進んで調べようとしている。（2-①）</p> <p>○ 地図帳、白地図等</p> <p>○ 「はあと・ふる1」（色丹島）</p> <p>■ 資料を比較して課題を設定する。</p>	

時 間	<p style="text-align: center;">学習過程 ● 主な学習内容</p>	<p>□ 評価 ○ 人材、施設、資料等の活用 ■ 指導上の留意点</p>								
2	<p>● 「北方領土の語り部」から当時の島での暮らしの様子を学ぶ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・北方領土は、現在、ロシアに不法に占拠されている。 ・北方領土は、日本の固有の領土だ。</p> </div> <p>● 北方領土について自ら追究する課題を設定しよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">北方領土について再発見しよう！</p> </div> <p style="text-align: center;">情報の収集</p> <p>● 北方領土の現状と歴史的経緯について調べる。 ・様々な資料に基づき、個人で課題を追究する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・北方領土の歴史について調べたい。 ・北方領土に関する条約について調べたい。 ・他国から見た北方領土について調べたい。 ・両国の政府の見解を調べたい。 など</p> </div>	<p>○ 北方領土の語り部</p> <p>□ 社会科等で身に付けた調べ方を生かし、情報を収集する。(2-①)</p> <p>○ 「北方領土ってどんなところ？」</p> <p>○ 副読本「ほっぽうりょうど」</p> <p>○ キッズコーナー(独立行政法人 北方領土問題対策協会ホームページ)</p> <p>■ ファイルに情報を蓄積す</p>								
<p style="background-color: red; color: white; padding: 5px;">道徳の時間 (1時間)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">主題名</td> <td style="color: red;">ふるさとへの誇りや愛着 内容項目4-(7)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">資料名</td> <td style="color: red;">①「はあと・ふる1」「北方領土『色丹島』」 ②「私たちの道徳」4-(7)「郷土や国を愛する心を」</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ねらい</td> <td style="color: red;">郷土の伝統や文化を育てた先人の努力を知り、郷土を愛する心情を育てる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">体験活動との関連</td> <td style="color: red;">①導入で、「はあと・ふる1」(色丹島)の写真を提示するとともに、北方領土について、これまで調べてきたことを想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(7)に、自分の「ふるさと」を紹介する文を書く。</td> </tr> </table>		主題名	ふるさとへの誇りや愛着 内容項目4-(7)	資料名	①「はあと・ふる1」「北方領土『色丹島』」 ②「私たちの道徳」4-(7)「郷土や国を愛する心を」	ねらい	郷土の伝統や文化を育てた先人の努力を知り、郷土を愛する心情を育てる。	体験活動との関連	①導入で、「はあと・ふる1」(色丹島)の写真を提示するとともに、北方領土について、これまで調べてきたことを想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(7)に、自分の「ふるさと」を紹介する文を書く。
主題名	ふるさとへの誇りや愛着 内容項目4-(7)									
資料名	①「はあと・ふる1」「北方領土『色丹島』」 ②「私たちの道徳」4-(7)「郷土や国を愛する心を」									
ねらい	郷土の伝統や文化を育てた先人の努力を知り、郷土を愛する心情を育てる。									
体験活動との関連	①導入で、「はあと・ふる1」(色丹島)の写真を提示するとともに、北方領土について、これまで調べてきたことを想起させる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(7)に、自分の「ふるさと」を紹介する文を書く。									
3~4	<p style="text-align: center;">整理・分析</p> <p>● 調べたことやわかったことをまとめよう。</p> <p>・課題に沿って情報をまとめ、グラフ、絵、図などを入れて、相手にわかりやすいようにまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・グラフにまとめるとわかりやすいね。 ・絵や図を入れるとよい。 ・見出しを工夫しよう。 ・北方領土についての自分の考えもまとめよう。 など</p> </div>	<p>□ 事象間の因果関係を分析したり、推論したりしている。(1-③)</p> <p>□ 仲間と協力して、新たな取組など適切な方法を考えながら問題解決に取り組んでいる。(3-②)</p> <p>□ わかりやすく説明原稿を書いている。(1-①②)</p> <p>○ 国語科で学習した新聞記事としてまとめることを生かす。</p> <p>■ グラフ、図などで整理・分析をする。</p>								

時 間	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">学習過程</div> <div>● 主な学習内容</div> </div>	<div style="font-size: small;"> <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点 </div>
5	<div style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> まとめ・表現 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 北方領土新聞を発行する。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを互いに交流し、「北方領土新聞」としてまとめ下学年にも情報提供する。 ・作成した新聞を中学校にも届ける。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた結果を、「北方領土新聞」にまとめてみよう。 ・北方領土についてわかったことや考えたことを下学年や中学校に知らせよう。 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 異なる意見や他者の考えを受け入れてまとめている。(3-①) <input type="checkbox"/> 学んだことや考えたことをもとにこれからの生き方にかかわることについて自分の考えをまとめている。(2-②) <input checked="" type="checkbox"/> 新聞でまとめ・表現する。

中学校

第2学年 「総合的な学習の時間」 単元指導計画

単元名	北方領土問題の解決に向けて	時数	5 時間
単元の目標	○ 北方領土問題について、様々な立場から見つめることによって、自分の考えをもち、分かりやすく伝えるとともに、今後の展望を考えることができる。		
地域、児童生徒の実態	○ 北方領土についての歴史的な事象について理解し、北方領土の問題について自分なりの考えをもち、課題意識を高めている様子が見られる。		
育てようとする資質や能力及び態度	1 学習方法に関すること	2 自分自身に関すること	3 他者や社会とのかかわりに関すること
	①自然環境や地域の状況を踏まえ、課題を設定する ②他者と協同して課題を解決しようとする ③相手や目的、意図に応じて論理的に表現する	①課題解決や探究活動に主体的に取り組む ②自らの生活を関連付けて考え、今後の見通しをもつ	①異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する ②互いの特徴を生かし、協働して課題を解決する
前学年との関連について	・社会科の地理的分野の学習において「国土の領域」を学ぶ中で、歴史的な経緯にもふれながら北方領土問題を扱った。		
教材について	・教科書、地図帳（社会科） ・資料集 ・ビデオ ・インターネット等による関連資料 ・「北方領土ってどんなところ？」（社団法人 北方領土復帰期成同盟）		
地域の人材について	・「北方領土の語り部」から直接話を聞き、実感に基づいた理解に結び付ける。		
地域の施設について	※ 適当な施設なし		
時間	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 学習過程 ● 主な学習内容 </div>		<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点
1	● 「北方領土の語り部」から当時の島での暮らしの様子を学ぶ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・北方領土にはたくさんの港があるね。 ・昔の人々は大変な苦勞をしたんだね。 ・昔は魚介類がたくさんとれたんだ。 など </div>		<input type="checkbox"/> 語り部の話を聞き、北方領土に対する学習を振りかえり、新たな課題意識をもとうとしている。（2-①） <input type="checkbox"/> 北方領土の語り部
2	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px 5px; border-radius: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">課題の設定</div> ● 社会科の歴史的分野の単元「講和条約と安保条約」の学習 ・戦後日本の国際社会への復帰の経緯を理解し、残された課題として『北方領土問題』があることの認識を深め、「北方領土問題」の解決について追求する課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 北方領土問題について調べ、考えたことを発信しよう！ </div>		<input type="checkbox"/> ソ連との国交回復の経緯を考えると同時に、課題設定している。（1-①） <input checked="" type="checkbox"/> 資料を比較し、問題を序列化して課題を設定する。

時 間	<div style="text-align: center;"> 学習過程 ● 主な学習内容 </div>	<div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点 </div>
3	<div style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px 10px; border-radius: 10px; margin-bottom: 10px;">情報の収集</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分たちの主張にかかわる情報を収集する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土は太平洋戦争以前にロシア領であったことは一度もなく日本固有の領土なんだ。 ・サンフランシスコ講和条約において日本は千島列島を放棄しているんだ。 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> グループで協同して課題資料を収集している。(1-②) <input type="checkbox"/> インターネット「わたしたちの北方領土(中学生用)」など <input type="checkbox"/> 「北方領土ってどんなところ？」(社団法人 北方領土復帰期成同盟)
4	<div style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px 10px; border-radius: 10px; margin-bottom: 10px;">整理・分析</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 根拠を明確にした主張をまとめる。 ・主張：それぞれの立場からの主張 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書には、当時のソ連が侵攻してきたという事実と、現時点でもロシアが不法占拠していると言うことが書かれている。 ・1855年、日露通好条約が結ばれた。この条約で両国の国境を択捉島とウルップ島の間で定め、ウルップ島より北につらなる千島列島はロシア領と定められた。択捉、国後、色丹、歯舞の四島は日本の領土であることが、この条約によってロシアとの間で法的に確定した。 ・1875年、日本はロシアと樺太千島交換条約を結び、千島列島をロシアから譲り受けるかわりに、樺太全島を放棄した。この条約には、譲り受ける千島列島としてシムシュ島からウルップ島までの18の島の名前をあげていることから、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島が、千島列島に入らないことが記されていた。 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 根拠を明確にした主張をしている。(1-③) <input checked="" type="checkbox"/> 座標軸が入ったワークシートで整理・分析する。 <input type="checkbox"/> 異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重している。(3-①) <input type="checkbox"/> 互いの特徴を生かし、協働して課題を解決している。(3-②)
5	<div style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px 10px; border-radius: 10px; margin-bottom: 10px;">まとめ・表現</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の北方領土問題についての自分の考えを作文にまとめ、教室に掲示することにより、広く情報を発信する。 ・提案：北方領土問題について、自分の考えを分かりやすく他者に伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次世界大戦後の1951年(昭和26年)「サンフランシスコ講話条約」が結ばれ、日本は千島列島・南樺太を放棄したが、日本が放棄した千島列島とは、ウルップ島より北の島のことで、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の四島はその中に含まれていない。 など </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 国家間の相互理解を図る <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とロシアの関係はこれからどうなるのだろう。 ・将来、私たちにできることは何だろう。 ・未来に生きる日本人として、自分の国のことや他の国のことなど、きちんと理解していきたい。 ・様々な国家間の問題がたくさんのあるのが調べていくうちに分かってきた。 など </div> <ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現に向けての今後の展望を抱く。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 根拠を明確にした主張を相手に分かりやすく伝えている。(1-③) <input checked="" type="checkbox"/> 作文にまとめ・表現する。 <input type="checkbox"/> 今後の展望を考えている。(2-②)

時 間	学習過程 ● 主な学習内容	<input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 人材、施設、資料等の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 指導上の留意点								
道徳の時間 (1時間)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">主題名</td> <td>ふるさとへの誇りや愛着 内容項目4-(8)</td> </tr> <tr> <td>資料名</td> <td>①はあと・ふる1「人工衛星から見た北方領土」 ②「私たちの道徳」4-(8)「ふるさとの発展のために」</td> </tr> <tr> <td>ねらい</td> <td>地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛する心情を育てる。</td> </tr> <tr> <td>体験活動との関連</td> <td>①導入で、はあと・ふる1「人工衛星から見た北方領土」の写真を提示し、北方領土の語り部の話を思い出すなどして、郷土及び国家に対する思いをもたせる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(8)「ふるさとの発展のために」を読む。</td> </tr> </table>	主題名	ふるさとへの誇りや愛着 内容項目4-(8)	資料名	①はあと・ふる1「人工衛星から見た北方領土」 ②「私たちの道徳」4-(8)「ふるさとの発展のために」	ねらい	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛する心情を育てる。	体験活動との関連	①導入で、はあと・ふる1「人工衛星から見た北方領土」の写真を提示し、北方領土の語り部の話を思い出すなどして、郷土及び国家に対する思いをもたせる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(8)「ふるさとの発展のために」を読む。	
主題名	ふるさとへの誇りや愛着 内容項目4-(8)									
資料名	①はあと・ふる1「人工衛星から見た北方領土」 ②「私たちの道徳」4-(8)「ふるさとの発展のために」									
ねらい	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛する心情を育てる。									
体験活動との関連	①導入で、はあと・ふる1「人工衛星から見た北方領土」の写真を提示し、北方領土の語り部の話を思い出すなどして、郷土及び国家に対する思いをもたせる。 ②終末で、「私たちの道徳」4-(8)「ふるさとの発展のために」を読む。									